

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 2022年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス リズム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		一軒家の個室を指導訓練室として利用している	目的(指導訓練等の内容・人数により)に応じたスペース作りにも工夫していきたい
	2	職員の配置数は適切である	○		専門職を配置し少人数に対して十分なスタッフ数である	専門職に加え菜園での野菜作り等に詳しいスタッフを新たに配置。今後も利用人数に対して十分なスタッフ数の配置を行いたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	段差解消の為にステップ・階段の手すりを設置している	必要に応じて改善すべき設備等について対処を行いながらバリアフリー化できるように配慮したい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルに全てのスタッフが参画できるようにしている	全てのスタッフに積極的なミーティングへの参画を促している。参加しやすい環境づくりを常に整えておきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート実施・聞き取り等により保護者(利用者)のニーズを把握	これからも保護者(利用者)のニーズを正しく把握できるように保護者向け評価表等を活用していきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今年度開催予定であった外部評価は中止(コロナ禍により)次年度はズームでの開催を試みたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修参加が難しいこともあり個人向けに書籍購入・提供	定期的な事業所内研修を継続しリモートを利用した外部研修にも参加していきたい
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適切なアセスメントが行えるように支援会議を開催	保護者(利用者)からのニーズを正しく把握した上で細やかなアセスメントを行い放課後等デイサービス計画書を作成する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎回スタッフ全員(チーム)で立案している	これからも活動プログラムの立案はスタッフ全員(チーム)で行いたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者(子供たち)の意見も取り入れている(主に休日)	活動プログラムの立案に子供たちの要望を加えることで活動がより参加しやすいものとなっている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		きめ細やかな課題設定を心がけて支援している	今後も平日・休日・長期休暇についてはそれぞれに応じた課題に取り組めるよう、きめ細やかな課題設定を行い支援していきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子供の状況に応じて個別活動・集団活動を組み合わせ計画作成している	これからも子供の状況に応じて個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		スタッフ全員で支援内容確認・役割分担の確認を行っている	継続して行いたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		スタッフ全員で支援の振り返り・情報の共有化を行っている	継続して行いたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援経過を記録し支援の検証・改善につなげている	これからも支援経過を適切に記録することを徹底したい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行っている	継続して取り組み(モニタリング)適切な個別支援計画の見直しが行えるようにしたい
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに基づき活動を組み合わせ合わせている	ガイドラインに基づいた基本活動を複数組み合わせることによりサービスの向上につなげたい	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者(管理者)が参画している	児童発達支援管理責任者に加え、専門職である保育士等のスタッフも参加できるようにしていきたい
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		小学校は保護者を通じてメール等で、中学校は支援クラスの先生からの連絡で調	継続して適切な学校との連絡調整を行いたい(次年度より中学生が増えるため留意していきたい)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な子供の受け入れがスムーズに行えるように子供の主治医等との連絡体制を整えておきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童発達支援センターとの情報共有・相互理解は堂に行っている	これからも児童発達支援センターとの情報共有・相互理解に努めたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在該当する利用者はいないが、障害福祉サービスへ移行する場合に対応(適切な支援)できるように事業所の立ち上げ等を検討している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関での研修やアドバイスをメール等にて受けている	児童発達支援センター等専門機関での研修に積極的に参加できるようにしておきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍により児童館利用(児童館休館中)休止しているが、再開された時には児童館との交流を再開したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		自立支援等協議等に参加予定である
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		メール等で情報交換することで共通理解を持つことができている	これからも子供の状況について保護者とは連絡をとり合い、子供の発達状況や課題について共通理解を持ちたい
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者に対するペアレント・トレーニングを行っている	これからも適宜ペアレント・トレーニングを行っていききたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		主に契約時に丁寧な説明を心掛けて行っている	これからも丁寧な説明を心掛けて行いたい
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談については適切に対応し助言・支援を行っている	これからも相談について適切な支援を行っていききたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者同士の連携がスムーズに行えるように支援している	コロナ禍により保護者会等の開催は休止しているが、ズーム利用などによる開催を検討したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合には迅速かつ適切に対応できるように体制を整えている	苦情があった場合には適切かつ迅速な対応ができるように体制を整えておきたい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		メール等で情報を適宜発信している	これからもデイサービスでのご様子や情報を発信を続けたい
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の扱いについては契約時に丁寧に説明している	これからも個人情報については十分に注意して扱い、扱い方については丁寧な説明を心がけたい
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子供・保護者との意思疎通・情報伝達のための配慮	子供・保護者との意思疎通・情報伝達のために配慮を行いたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			参加して頂けるイベント開催の準備をしている	コロナ禍により休止しているが、再開できる時期になれば地域住民を招待できるイベントを開催したい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各マニュアル作成し保護者・スタッフに周知を行っている	各マニュアルに基づき、研修会等での周知の徹底をはかりたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難・救出等訓練を行っている	継続して避難・救出訓練を行っていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルに基づき全スタッフに研修を行っている	継続してマニュアルに基づいた研修等を行っていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束を行うかについて十分に説明・同意を得た上で計画書に記入	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子供・保護者に事前に十分に説明・理解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載するようにする
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、意思の指示書に基づく適切な対応が必要な利用者はいないが、今後は対応できるように体制を整えていきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例案を作成し事業所内で共有	ヒヤリハット事例集を通じてヒヤリハット防止に努めたい